

**JAL、新たに自社運営CVCファンド「JAL Innovation Fund II」を設立**  
～シリコンバレーを拠点としたイノベーション、航空の枠を超えた新たなステージへ～

**JAPAN AIRLINES  
VENTURES** 

JALは、2019年より運営してきたコーポレート・ベンチャー・キャピタル(以下「CVC」)(※1)1号ファンド「JAL Innovation Fund」(※2)の取り組みをさらに進化させ、新たに2号ファンド「JAL Innovation Fund II」を設立します。これまで外部パートナーとの共同運営(二人組合)を通じて培ってきたノウハウやグローバルネットワークを基盤に、今後は投資判断から事業連携に至るまで一貫して自社で担う体制を確立します。

運営および推進は、米国に新設したJAL100%出資の投資会社「Japan Airlines Ventures, Inc.(以下「JALV」)」が担います。自社運営のCVCファンドは、エアラインとしてアジア初となる取り組みであり、航空領域の枠を超えたフロンティア領域への投資をする取り組みは、エアラインとして世界初となります。

# JAL INNOVATION FUND

■ 運営体制

	FUND I (2019~)	FUND II (2026~)
<p>二人組合</p> 	<p>運営委託</p>	<p>自社</p>  <p>米国設立・JAL 100%出資</p>

  

■ 価値創造ステップ

	FUND I (2019~)	FUND II (2026~)
<p><b>1 知の探索</b> 投資判断 / 案件発掘・意思決定</p>	<p>運営委託</p>	<p>自社</p>
<p><b>2 事業開発・変革の推進</b> シナジー効果の創出</p>	<p>自社</p>	<p>自社</p>
<p><b>3 事業の成長</b> シナジー効果の最大化</p>	<p>自社</p>	<p>自社</p>

※FUND IIでは「知の探索」～「事業の成長」まで一貫運営で実行する体制を確立。

JALVは、世界のイノベーションの集積地であるシリコンバレーを拠点として、未来の社会変化を先取りする「知の探索」の役割を担います。また、JALの豊富なアセットと、最先端のテクノロジーや革新的なビジネスモデルを有する世界のスタートアップ企業をつなぎ、航空業界の未来を切り拓くとともに、お客さまに新たな価値と感動を提供し続けてまいります。

(※1)事業会社が自社の事業戦略の一環として、外部スタートアップへ投資・支援を行う仕組み。外部の革新的な技術や知見を取り込み、共創による中長期的な企業価値向上を目指す。

(※2)2019年1月24日付けプレスリリース | [JAL、「Japan Airlines Innovation Fund」を設立](#)

## ■ 2号ファンド「JAL Innovation Fund II」の投資領域

これまで、マイル・環境などの航空コア領域や次世代モビリティなどの隣接領域といった航空ドメインの進化に取り組んできましたが、2号ファンドの設立により、航空ドメインのさらなる進化を図りつつ、JALがまだリーチできていないフロンティア領域の開拓も積極的に推進します。未開拓のテクノロジーや革新的なビジネスモデルを探索・発掘し、優先的にリソースを投入することで、未来の変革を牽引していきます。



## <Japan Airlines Ventures, Inc. 会社概要>

名称	Japan Airlines Ventures, Inc.
登記地	米国デラウェア州
活動拠点	米国カリフォルニア州(シリコンバレー)
CEO	久根崎 将人
事業内容	CVCファンドを通じたスタートアップ企業への投資および事業連携の推進等
設立日	2026年2月25日
株主構成	日本航空株式会社 100%
ファンド	JAL Innovation Fund II, L.P. ※2026年3月中に設立予定
ファンドサイズ	50百万USDドル
公式Webサイト	<a href="https://japanairlinesventures.com/">https://japanairlinesventures.com/</a>

以上